

2024年 7月 14日 << 聖餐式 >>

主 日 礼 拝

①8時半 ②10時半 ③夜7時

司 会

②白川 達男兄

奏 楽

祈 禱

②小山美枝子姉

賛 美

聖歌424番「ただ信ぜよ」

～パワー・オブ・ユア・ラブ～

主の祈り

聖書朗読

使徒行伝9章1～9節

特別賛美

三好保由兄・砂川由紀姉・柴田直美姉

メッセージ

「盲目にさせられたパウロ」

石井 潤 牧師

聖 餐 式

賛美「主イエスの十字架の血で」

献金・賛美

聖歌229「アメイジング・グレイス」

祝 禱

お知らせ

〔司会者〕

賛 美

～主を待ち望む者は～

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！☆  
《今週のお知らせ》

☆本日も礼拝、聖餐式の恵みを感謝致します！ 午後は執事会を行います。

★今週の祈り会：①明朝6時、②木曜午前 10時半/夜7時半、③土曜夜8時。

☆木曜午後2時～、上田市大手の石井兄姉宅にて家庭集會が行われます。

★来週も日曜礼拝を大切に致しましょう！（司会：白川兄／祈禱：石井兄）。

☆☆一年に一回聖書を完読できる！ Bible Reading Plan [7/14- /21] ☆

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
聖書箇所	ヨハネ 9-10	11-12	13-14	15-17	18-19	20-21	ヨブ 1-5	6-10
チェック	〇〇	〇〇	〇〇	〇〇〇	〇〇	〇〇	〇〇〇〇〇	〇〇〇〇〇

## 「盲目にさせられたパウロ」

～“見える”と言い張る所に罪がある～

「しかし、主は仰せになった、『さあ、行きなさい。あの人は、異邦人たち、王たち、またイスラエルの子らにも、わたしの名を伝える器として、わたしが選んだ者である。わたしの名のために彼がどんなに苦しまなければならないかを、彼に知らせよう』。そこでアナニヤは、出かけて行ってその家にはいり、手をサウロの上において言った、『兄弟サウロよ、あなたが来る途中で現れた主イエスは、あなたが再び見えるようになるため、そして聖霊に満たされるために、わたしをここにおつかわしになったのです』。するとたちどころに、サウロの目から、うるこのようなものが落ちて、元どおり見えるようになった。そこで彼は立ってバプテスマを受け、また食事をとって元気を取りもどした。」  
使徒行伝9章15-19a節

パウロは優秀で、熱心で、完璧に近い若者でした。彼は自分の持っていた考えに迷いはありませんでした。迷いがあれば、クリスチャンたちを殺害をしようとは考えなかったでしょう。しかし、そのパウロがイエス様によって捕らえられました。半ば強制的に。そのように強制的でなければパウロも納得できなかったかもしれません。自分が100%正しいと思っていた世界が、全く間違っていたかもしれないと感じた瞬間でした。もう立ち直れないと思ったことでしょう。彼はまばゆい光によって視力を失ってしまいましたが、それは、盲目になったということですが、彼の人生そのものが閉ざされたと感じた瞬間でもあったとも言えます。

主イエス様はヨハネ福音書9章で、生まれつきの盲人に出会いました。そして、その人物が盲人である理由、目的があるとおっしゃいました。それは、その人物を通して神のみわざが現されるためであると。そして、実際に、この人物を通して、ユダヤ人たちにイエス様のことが語られ、この人物がもう一度イエス様に会って、救い主として信じ、礼拝し、その人生が変えられる奇跡が現されました。しかし、そのみわざを見たにも関わらず、ユダヤ人の指導者たちはイエス様を認めないままでした。そして最後に、イエス様は次のおっしゃいました。「わたしがこの世にきたのは、さばくためである。すなわち、見えない人たちが見えるようになるためである。…。もしあなたがたが盲人であったなら、罪はなかったであろう。しかし、今あなたがたが『見える』と言い張るところに、あなたがたの罪がある(39,41)」。多くのユダヤ人たちは神に従っていました。しかし、いつしか、その信仰が形式的になっていて、心から神を求めている状況に陥ってしまっていたのです。そのことをイエス様は憐れんで、初めの愛に戻りなさい！神御自身の驚くべき恵みを思い出しなさい！と語りかけたのです。

私たちクリスチャンもいつも間にかそのような心になってしまおうと思います。自分の目にある泥を洗い落とさないといけないのに、自分は見えている。泥なんてついていないと。しかしパウロが新しい目を与えられたように、私たちも今朝主によって新しい目を与えられたいと願います！